

(6) ^{あさひいせき}朝日遺跡

所在地 清須市朝日貝塚

(北緯 35 度 13 分 18 秒

東経 135 度 51 分 05 秒)

調査理由 史跡貝殻山貝塚整備事業

調査期間 平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月

調査面積 98 m²

担当者 成瀬友弘・尾崎綾亮

調査経過 史跡貝殻山貝塚整備事業に伴う事前調査として、愛知県教育委員会より委託を受けて実施した。今回の調査の目的は、平成 7 年度調査地点の弥生時代前期の環濠の貝層断面はぎ取り作業とこの環濠が史跡公園の中のどこを巡っているか位置と規模を確認するものである。

立地と環境 朝日遺跡は、清須市を中心に、名古屋市西区に広がる東海地方を代表する弥生時代の集落遺跡で、現在では五条川左岸の後背湿地に当たり標高 3.7m 程である。

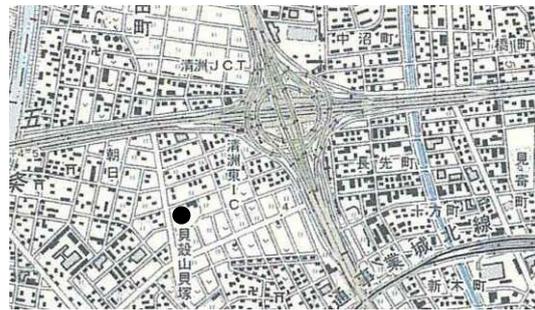
調査の概要 今回の調査では、弥生時代前期環濠の断面はぎ取りのためのトレンチを T1、前期環濠の位置と規模を確認するためのトレンチを T2、T3 として掘削を行った。T2、T3 のトレンチを設定するにあたっては 6 月に地中レーダー探査を行い、この結果を参考に設定を行った。

T1 は平成 7 年度調査地点の北西角に 5m×10m のトレンチを設定し掘削を行った。掘削の結果、過去の調査後の地盤改良作業などの影響で弥生時代前期環濠の貝層があった部分の壁が崩落しており、予定範囲内で貝層が確認できなかった。また、標高 2m 付近で湧水が激しく、これ以下で貝層を掘り出したとしても、はぎ取り等の作業は技術的に難しく貝層の検出と断面のはぎ取り作業を断念し埋め戻しを行った。

T2 は史跡公園南側入り口北東に 2.5m×8m の規模で設定を行ない、3 面に分けて調査を行った。1 面目は弥生時代の包含層である黒褐色細粒砂層の上面で行い、柱穴や不定形の土坑を検出した。2 面目は黒褐色細粒砂層半ば付近に設定し検出を行い、東西方向に走る溝 (009SD,010SD) を確認し、弥生時代中期から後期の土器が出土している。3 面目はさらに下層で東西に走る溝 (012SD) が壁断面で確認されていたため掘削を行ったが、湧水が激しく壁の崩落の危険もあったため溝の方向とおおよその規模は確認したが簡易な記録をするにとどまった。遺物は弥生時代中期の土器が出土している。T2 では結果として目的である弥生時代前期の環濠を確認することはできなかった。

T3 は史跡公園南東に 2.5m×8m の規模で設定を行ない、4 面に分けて調査を行った。

T2 の 1 面目とは違い盛り土下の旧表土を除去した面で 1 面の検出を行い、溝 (025SD)、竪穴建物の可能性がある大型の方形土坑 (030SX,039SX) の他、土坑、ピットなどが確認されている。030SX からは下呂石の剥片がまとまって出土している。この他に弥生時代中期の土器を中心に出土している。2 面目は旧試掘坑の壁

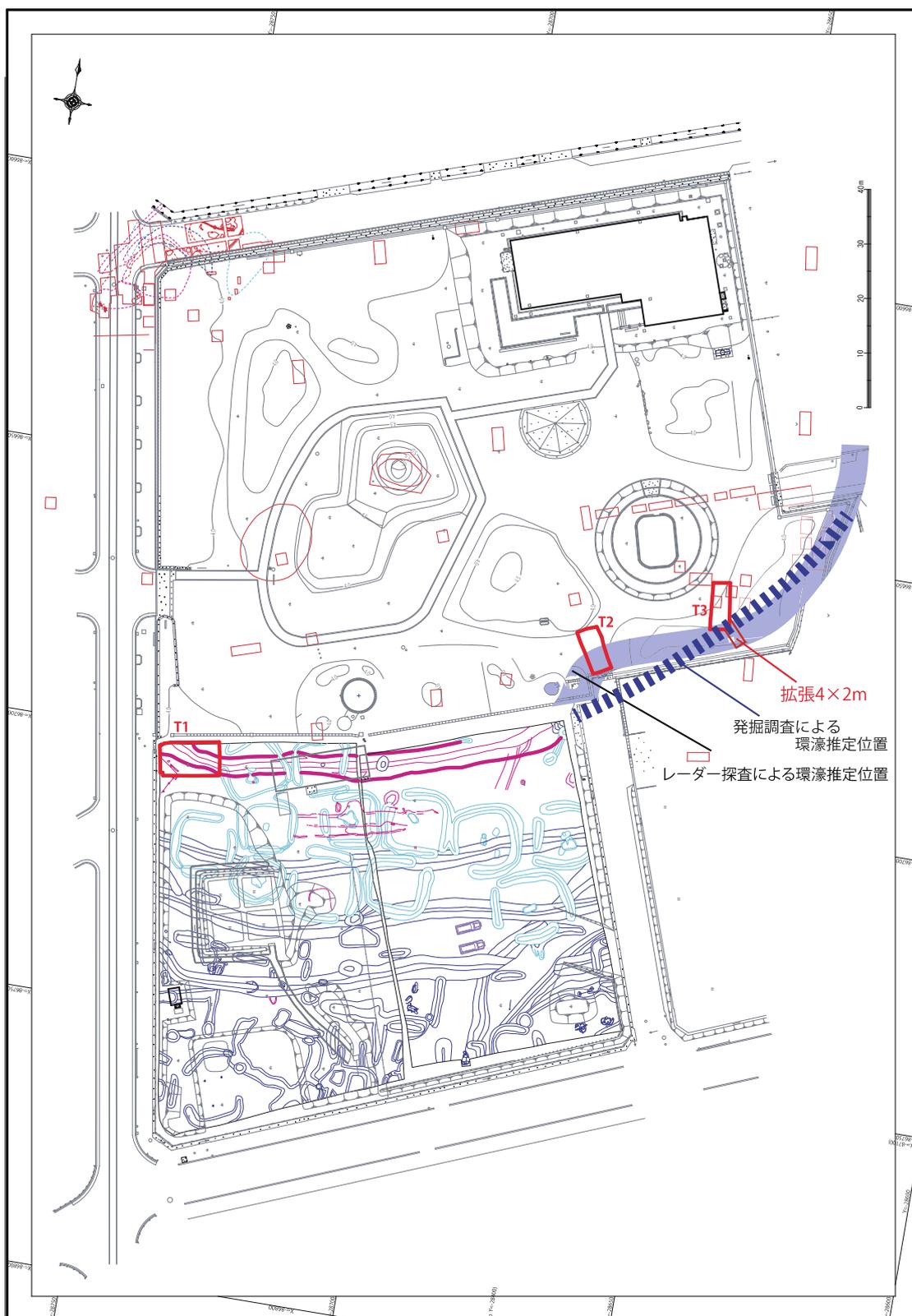


調査地点 (1/2.5万「清洲」)

面をたよりに 10 cm程度包含層を掘り下げたところで検出を行った。溝 (022SD)、土坑、ピットなどが確認された。022SD 周辺からは弥生時代前期から中期の土器が出土している。3 面目は 2 面目よりさらに 10 cm程度包含層を掘り下げたところで検出を行い、堅穴建物の可能性がある大型の方形土坑 (060SX)、土坑、ピットなどが確認されている。022SD からは貝層とともにサメの椎骨で作られた骨角器などが出土した。4 面目は基盤層である黄褐色細粒砂で検出を行い、遺構として大型土坑 (083SX) の他、ピットなどが確認されている。4 面目の遺構については、遺構保存に留意し、断面確認のみを行い完掘せずに残したものもある。022SD からは弥生時代前期の土器がまとまって出土したこともあり、規模を確認するため南西側へのトレンチの拡張を行い、022SD は幅約 3.8m で南西から北東方向へ緩やかに弧状に走ることが確認されている。

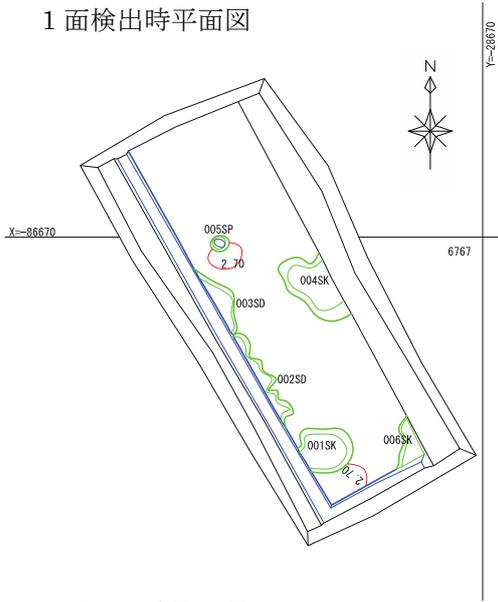
なお、T3 トレンチ並びに拡張部については、埋め戻しを行うにあたって遺構面を黄褐色の砂で保護した後に埋め戻しを行った。

ま と め 今回の調査では、当初の目的の一つである弥生時代前期の環濠の壁断面のはぎ取りは果たせなかったものの、前期環濠 (022SD) が緩やかに弧を描いて史跡公園の南東部を巡っていることが推定される結果となった。今後の史跡公園整備事業への貴重な資料を得ることができたと考える。 (成瀬友弘)

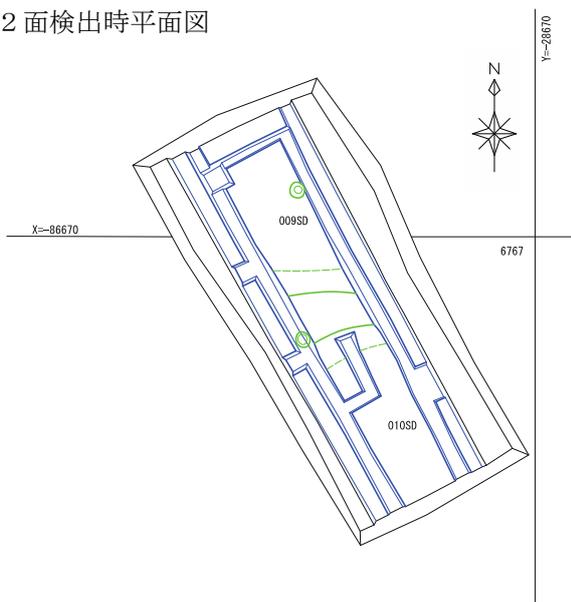


調査区位置図

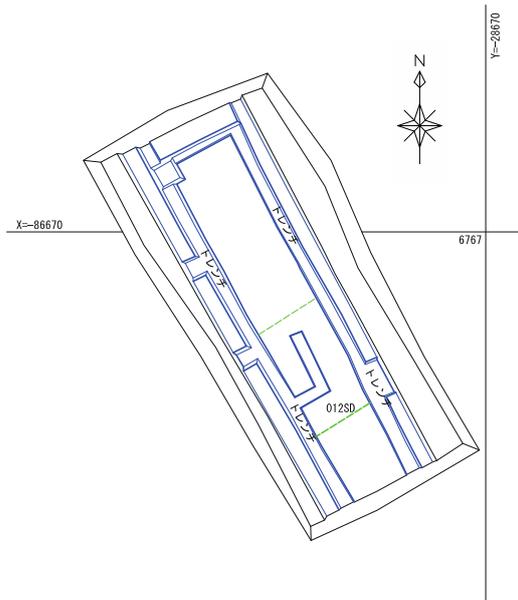
1 面検出時平面図



2 面検出時平面図



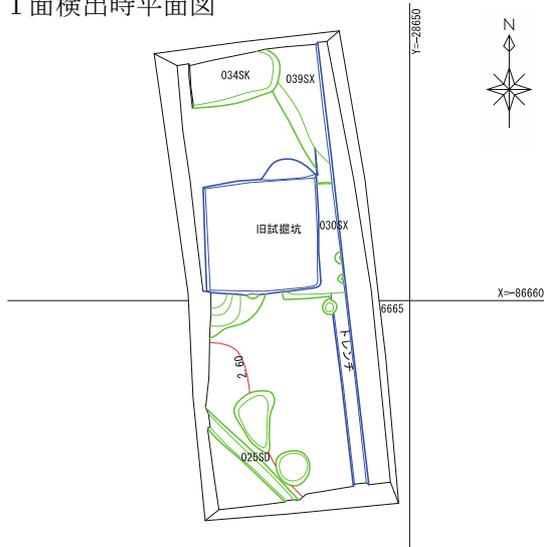
3 面検出時平面図



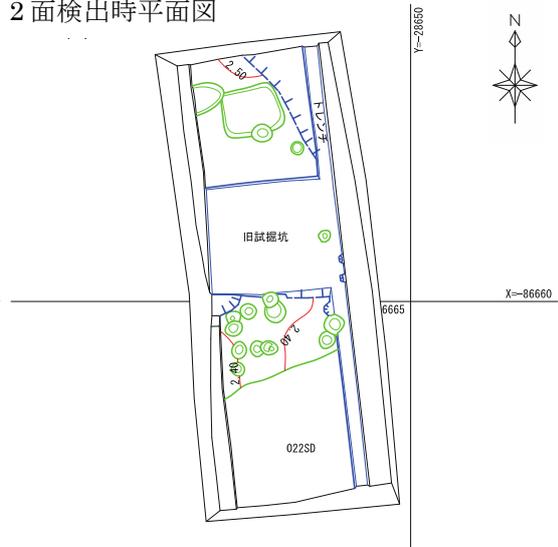
0.000m S=1/100 2.000m

T 2 平面図 (S=1:100)

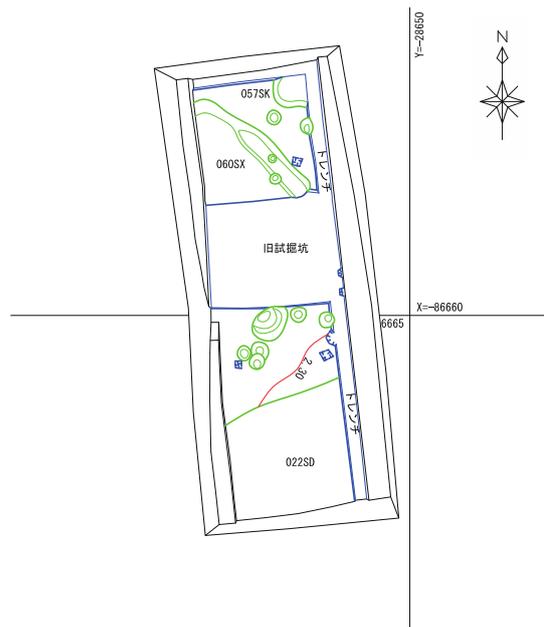
1面検出時平面図



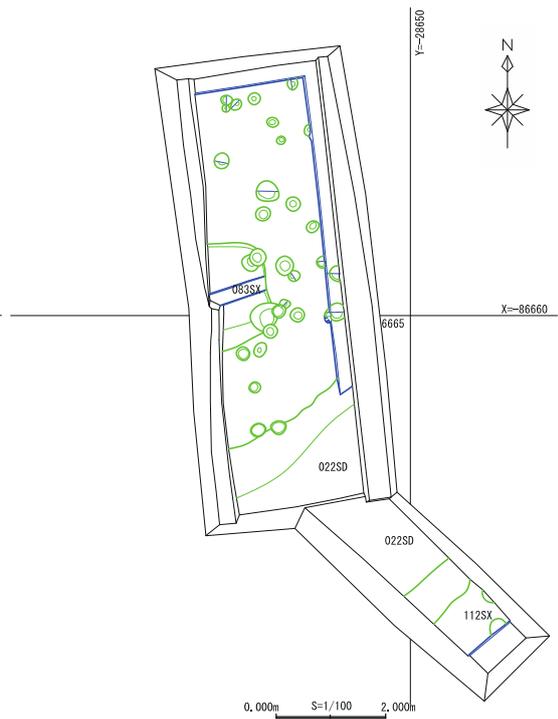
2面検出時平面図



3面検出時平面図



4面検出時平面図



T3 平面図 (S=1:100)



レーザー探査作業



T1 掘削作業（東から）



T2 1面完掘状況（北から）



T2 2面土器出土状況1



T2 2面土器出土状況2



T2 2面完掘状況（南西から）



T3 1面完掘状況（北から）



030SX 石器出土状況



022SD 検出状況



022SD 土器・骨角器（右上）出土状況



T3 2面完掘状況（南西から）



T3 3面完掘状況（南西から）



T3 4面完掘状況



T3 拡張部 土器出土状況



T3 拡張部 検出状況